

### Q3 障害者自立支援法が制定されて1年半が経過したが、心の健康センターの機能充実に向けてお伺いしたい？

梶本副市長答弁：今後、増大するニーズに対応するためには、医療機関や障害者福祉サービス事業者、ハローワーク等就労機関及び地域との連携が不可欠である。

こころの健康センターは、その連携の中核として、精神保健福祉施策を担い、より身近な窓口としては地域の社会資源を利用していただけるようにネットワークを構築し、障害者が安心して暮らせるよう支援していきたいと考える。しかしながら、このような中核的役割を果たすには、現在の施設では十分ではなく、機能及び体制の充実が必要と考えており、その具体的な内容について、早急に検討したいと考えている。

### Q4 ゴミの減量化について、市長の見解を伺いたい？

矢田市長答弁：05年度の家庭から出るゴミの排出量は、政令都市の中でワーストワンだ。こんな恥ずかしいことはない。特に家庭から出るゴミの削減が課題だ。ゴミは資源と言う意識を育てていかななくてはならない。6分別収集を徹底して市民、事業者と連携して取り組んでいく。

《要望》大井としひろ

家庭から出るゴミの排出量は、政令都市の中でワーストワンということを神戸市民は知らないのではないか。知らされていないのではないのでしょうか。私は、「家庭から出るゴミの量を一人当たり600グラムに減らすよう市長に提言していきます」と先の統一選挙の公約として掲げて選挙に勝たせていただいた。

今後、4年間で一人当たりの排出量を600グラムまで家庭ごみを減らすよう努めていただきたい。

ゴミ問題の先進都市を見ますと市長が自らゴミ問題と取り組んでおられる。

矢田市長がトップダウンで、自ら先頭に立ってゴミ問題の旗振り役となって取り組んでもらいたい。



環境に優しい「KOBETS ちよいのりバス」の試乗会にて、矢田市長とともに

### Q5 スポーツの国際交流の拠点としての神戸レガッタ&アスレチッククラブの支援についてお伺いしたい？

鵜崎副市長答弁：神戸レガッタアンドアスレチッククラブについては、140年近くの歴史を持つ貴重な外国人クラブであり、クラブがさらに色々な知恵を絞られて、汗を流されて、その上で会員の増に努められて、いろいろなことでトータルとしてクラブの反映になるような動きを展開されることを市としても応援していきたいと希望として持っている。今後とも市としては可能な範囲で外国人クラブが長く続いていくように考えていきたい。

### Q6 室谷邸など歴史的建造物の保存についての対策をお伺いしたい？

教育長答弁：今後同様なことが予想される場合は、文化財の価値が高いものであれば所有者に対し、指定文化財に同意していただくなど粘り強く保存への理解を求めていく。

矢田市長答弁：離宮公園に室谷邸の何かモニュメント的なものが出来ないか方策を検討している。

### Q7 無法地帯化した須磨海岸になんらかの制限も含めた条例制定をする考えはないか？

鵜崎副市長答弁：ご指摘のとおり、須磨海岸にはいろいろと問題がある。

これまで須磨海岸での禁止行為に対しては、様々な対策を講じてきたが、現行の対策だけでは限界に来ているのではと考えている。いろいろな形で規制強化してきたが、一定の結論を出し、強制力のある方法をとるべき時期に来ているのではないかと考えている。

今後、警察等関係機関とより具体的な協議を進め、できるだけ早く実行力のある方針を立てていきたい。



須磨海岸クリーン作戦

今回から本会議の様子がインターネット映像でご覧いただけます。市会事務局から本会議の代表質疑の様子をインターネット配信されましたので、詳しくはそちらをご覧ください。神戸市のホームページにアクセスして、神戸市会をクリックしてご覧ください。大井としひろのホームページやブログでもご覧いただけます。「大井としひろ」と入力し、検索してください。簡単にアクセスできます。